

令和4年（2022）年度寄付金使途

令和4年度も長引く新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、協会事業の中には、開催規模の縮小だけでなく実施形態を急遽変更して開催するなど、参加される方々にはご不便をおかけすることもございましたが、皆さまの温かいご支援のおかげで、無事すべての事業に取り組むことができました。

ご寄付くださいました皆さまに感謝申し上げます。

ありがとうございました。

令和4年度寄付金額：2,927,408円

寄付金を活用して取り組んだ事業

1. 次代を担う青少年育成のための取り組み

ボランティア活動の体験は、多様な人たちや価値観との出会いの場であると思っています。次代を担う青少年にひとつの価値観にとらわれない出会いと学びの場を提供します。



第41回サマーショートボランティア活動計画
(一部実施形態を変更して開催)



第34回海外でのボランティア活動に学ぶ
高校生スタディツアーINアジア

(実施形態を変更して開催)



高校生・大学生とともに創る「共生社会づくり」



TOMOSHIBIプロジェクト 高校生東北スタディツアー

2. ボランティア活動を推進する取り組み

さまざまな年代の方々に気軽にとりくめるボランティア活動を紹介したり、ボランティア同士のネットワークづくりを推進する場を提供します。



ボランティア活動参加促進事業



第44回静岡県ボランティア研究集会

(実施規模を縮小して開催)

3. 支えあう社会づくりを考える取り組み

災害時に限らず、平時からさまざまな困難を抱えた人たちやその人たちを地域みんなで支えあう社会づくりを学び・考える場を提供します。



「ケアする人のケア」を学ぶ会



ボランティアによる災害時の要配慮者支援をとともに考える事業「災害時の知恵ぶくろ～要配慮者編～」

大型リフトバス「ふじのくに愛輪号」の運行事業を終了しました。

1978年、障害者団体や福祉施設、ボランティアグループの皆さんの移動を支援することを目的に「初代リフトバス愛輪号」の運行をスタートしました。大型免許を持つ運転ボランティアのみなさまの協力のもとバスの運行を実施、老朽化に伴い「ふじのくに愛輪号1号」「ふじのくに愛輪2号」と代替わりしながら45年間にわたり運行を続けてまいりました。

公共交通機関のバリアフリー化や民間団体による移動支援など、障害を持つ方々をとりまく社会情勢の変化、またコロナ禍での外出自粛などによる利用者の減少から、令和4年度をもってリフトバスの運行事業を終了いたしました。

東日本大震災や西日本豪雨災害など、災害時にはボランティアの送迎支援や支援物資の運搬でも活躍しました。

利用団体のみなさま、運転ボランティアのみなさまをはじめ、多くの方々に支えていただき45年間、大きな事故もなく運行を続けてくることができましたことに心より感謝申し上げます。

